

第53期

(自 / 平成 15年 4月 1日 ~ 至 / 平成 16年 3月 31日)

決算説明会資料

2004年6月29日

日邦産業株式会社

平成16年3月期の総括 (個別)

当社は、事業の選択と集中を図り、半導体関連市場ならびに自動車関連市場への浸透を深め、収益性と安全性の確保ならびに業績回復に全力を傾注してまいりました。

この結果、当期の業績は売上高249億8百万円（前期比9.3%増）、経常利益6億23百万円（前期比5.9%減）、当期純利益5億28百万円（前期比30.9%減）となりました。

平成16年3月期 損益計算書 (個別)

単位:百万円

	前期	今期	増減	前期比
売上高	22,784	24,908	+2,124	+9.3%
売上原価	19,728	21,567	+1,839	+9.3%
売上総利益	3,056	3,340	+284	+9.3%
販管費	2,276	2,497	+221	+9.7%
営業利益	780	842	+62	+7.9%
営業外収益	167	133	34	20.4%
営業外費用	285	352	+67	+23.5%
経常利益	662	623	39	5.9%
特別利益	143	3	140	97.9%
特別損失	86	85	1	1.2%
税引前当期純利益	719	541	178	24.8%
法人税等	45	12	+57	126.7%
当期純利益	765	528	237	31.0%

売上高は、半導体・自動車関連の電気・電子材料・部品を中心として好調に推移致しました。

販管費の増加の主な要因は、人員増加によるものです。

営業外損益の増減の主な要因は、円高による為替差損の発生であります。

特別損益の増減の主な要因は、貸倒引当金戻入・金型事業売却益の減少によるものです。

平成16年3月期 貸借対照表 (個別)

単位:百万円

	前期	今期	増減	前期比
流動資産	8,223	9,476	+1,253	+15.2%
固定資産	6,659	5,592	1,067	16.0%
有形固定資産	1,598	1,620	+22	+1.4%
無形固定資産	17	35	+18	+105.9%
投資その他の資産	5,042	3,937	1,105	21.9%
資産合計	14,882	15,069	+187	+1.3%
流動負債	7,396	7,353	43	0.6%
固定負債	3,262	2,839	423	13.0%
負債合計	10,659	10,193	466	4.4%
資本金	2,601	2,601	+0	+0.0%
資本剰余金	1,808	1,808	+0	+0.0%
利益剰余金	888	1,444	+556	+62.6%
土地再評価差額金	1,281	1,307	26	+2.0%
その他有価証券評価差額金	214	339	+125	+58.4%
自己株式	9	10	1	+11.1%
資本合計	4,223	4,875	+652	+15.4%
負債、資本合計	14,882	15,069	+187	+1.3%

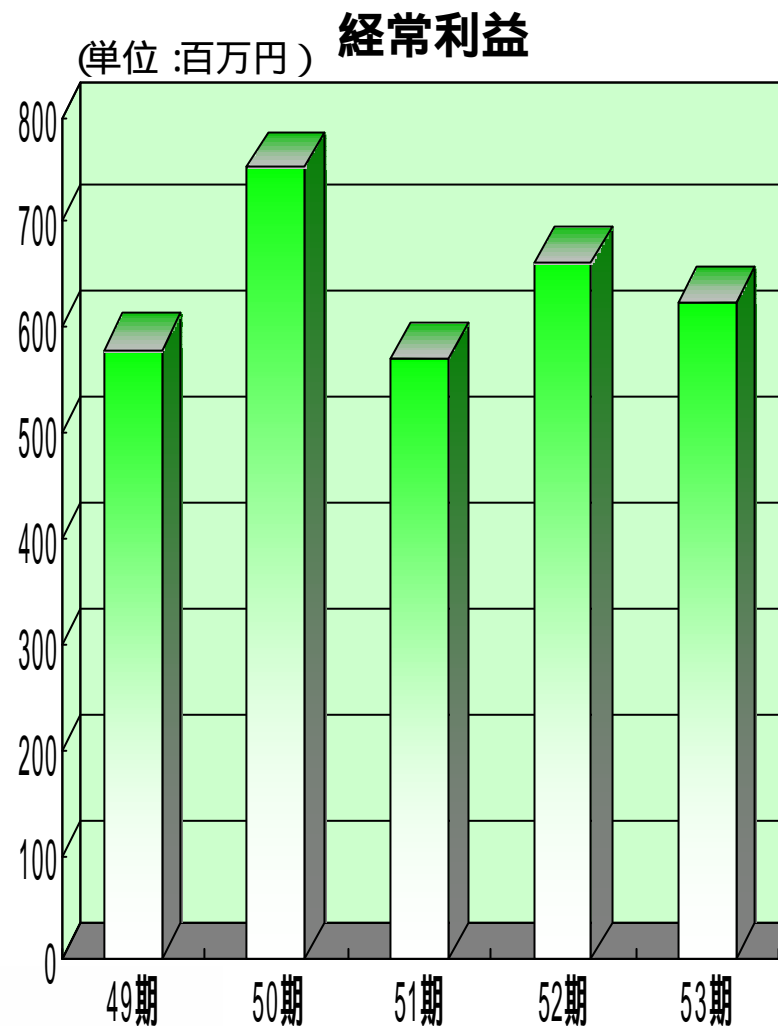
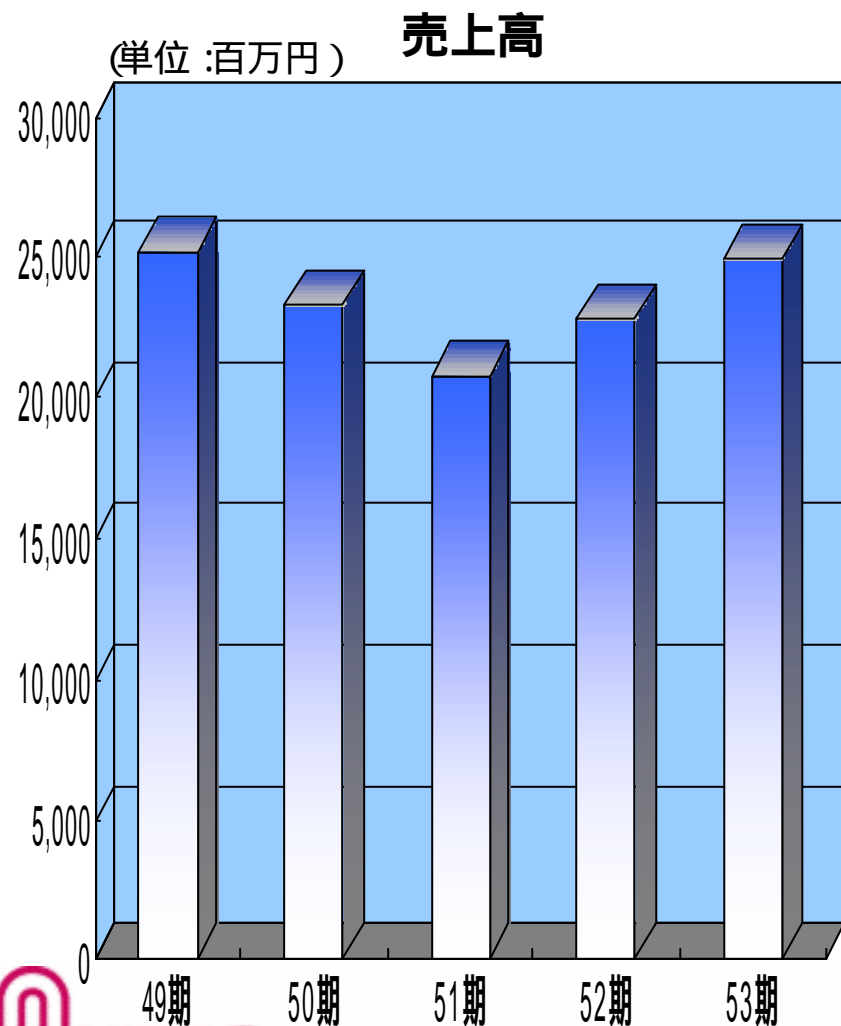
増減の主な要因は、仕入先への支払期間短縮による現金・預金の減少、法人税等還付金の長期未収入金から振替えによる未収入金の増加および売上高増加に伴う売上債権の増加であります。

増減の主な要因は、法人税等還付金の未収入金への振替えによる減少であります。

増減の主な要因は、長期借入金の返済による減少であります。

増減の主な要因は、第52期利益処分による別途積立金の増加およびその他有価証券のB/S帳簿価格と時価との評価益によるその他有価証券評価差額金の増加であります。

業績の推移 (個別)



品目別売上の比較 (個別)

単位:百万円

区分	部門	品目	前 期		今 期		増 減	前期比
			金 額	構成比	金 額	構成比		
製品	製造部門	プラスチック成形品	761	3.4%	903	3.6%	+142	+18.7%
		プラスチック成形組立部品	382	1.7%	301	1.2%	81	21.2%
		その他	76	0.3%	99	0.4%	+23	+30.3%
	小 計		1,220	5.4%	1,304	5.2%	+84	+6.9%
商品	商事部門	電気・電子材料	6,298	27.6%	7,122	28.6%	+824	+13.1%
		電気・電子部品	2,015	8.9%	1,947	7.8%	68	3.4%
		工業材料	1,426	6.3%	1,600	6.4%	+174	+12.2%
		工業部品	3,859	16.9%	4,439	17.8%	+580	+15.0%
		プラスチック部品	4,953	21.7%	5,284	21.2%	+331	+6.7%
		その他	1,952	8.6%	2,125	8.6%	+173	+8.9%
	商事部門 小計		20,505	90.0%	22,519	90.4%	+2,014	+9.8%
	自社商品部門	アミューズメント商品	794	3.5%	839	3.4%	+45	+5.7%
		コンポジット商品	208	0.9%	209	0.9%	+1	+0.5%
		その他	56	0.2%	35	0.1%	21	37.5%
自社商品部門 小計		1,059	4.6%	1,084	4.4%	+25	+2.4%	
小 計		21,564	94.6%	23,603	94.8%	+2,039	+9.5%	
合 計		22,784	100.0%	24,908	100.0%	+2,124	+9.3%	

従業員の状況、取締役および監査役

従業員の状況

従業員数 (前期末比増減)	平均年令	平均勤続年数
191名 (19名増)	34才4ヶ月	10年8ヶ月

(注) 子会社への出向者(29名)を除いて表示しております。

従業員数は嘱託およびパート(64名)は除いております。

取締役および監査役

会社における地位および担当業務	氏名
代表取締役	大塚 眞治
常務取締役	白崎 秋雄
取締役 管理本部長	笹倉 健一郎
取締役 営業本部長	長田 旬平
常勤監査役	武居 達治
監査役	寺澤 弘
監査役	山浦 和之

(注) 常勤監査役 武居達治ならびに監査役 寺澤弘、山浦和之は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

平成17年3月期の業績予想 (個別)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	12,300	250	220	0 0	- -	- -
通期	25,500	600	530	- -	15 00	15 00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 74円 40銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

平成16年3月期 損益計算書 (連結)

単位:百万円

	前期	今期	増減	前期比
売上高	26,467	29,278	+2,811	+10.6%
売上原価	22,702	25,230	+2,528	+11.1%
売上総利益	3,764	4,047	+283	+7.5%
販管費	2,697	3,051	+354	+13.1%
営業利益	1,067	996	71	6.7%
営業外収益	221	113	108	48.9%
営業外費用	318	376	+58	+18.2%
経常利益	970	733	237	24.4%
特別利益	52	12	40	76.9%
特別損失	87	87	+0	+0.0%
税金等調整前当期純利益	935	658	277	29.6%
法人税等	25	33	+58	232.0%
少数株主利益	14	4	10	71.4%
当期純利益	946	620	326	34.5%

売上高は、個別決算同様、好調に推移致しましたが、海外子会社においてユーザーからのコストダウン対応による影響を受けております。

営業利益の減少の主な要因は、新設したベトナム工場において本稼動前により費用のみが発生したことによるものです。

営業外損益の増減の主な要因は、連結調整勘定の減少と円高による為替差損の発生であります。

特別損益の増減の主な要因は、貸倒引当金戻入・金型事業売却益の減少によるものです。

平成16年3月期 貸借対照表 (連結)

単位:百万円

	前期	今期	増減	前期比
流動資産	9,693	11,159	+1,466	+15.1%
固定資産	6,866	5,997	869	12.7%
有形固定資産	3,862	4,269	+407	+10.5%
無形固定資産	17	35	+18	+105.9%
投資その他の資産	2,985	1,692	1,293	43.3%
資産合計	16,559	17,156	+597	+3.6%
流動負債	8,818	9,168	+350	+4.0%
固定負債	3,314	2,922	392	11.8%
負債合計	12,132	12,091	41	0.3%
少数株主持分	117	114	3	2.6%
資本金	2,601	2,601	+0	+0.0%
資本剰余金	1,668	1,668	+0	+0.0%
利益剰余金	10	665	+655	+6,550.0%
土地再評価差額金	177	150	27	15.3%
その他有価証券評価差額金	214	339	+125	+58.4%
為替換算調整勘定	353	465	112	+31.7%
自己株式	9	10	1	+11.1%
資本合計	4,310	4,950	+640	+14.8%
負債、資本合計	16,559	17,156	+597	+3.6%

増減の主な要因は、個別決算と同様であります。

増減の主な要因は、ベトナム工場設立に伴う設備投資であります。

増減の主な要因は、個別決算と同様であります。

増減の主な要因は、短期借入金増加であります。

増減の主な要因は、個別決算と同様であります。

増減の主な要因は、個別決算と同様であります。

平成16年3月期 キャッシュ・フロー計算書 (連結)

単位：百万円

	前期	今期	増減	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,162	402	760	65.4%
投資活動によるキャッシュ・フロー	706	864	158	+22.4%
財務活動によるキャッシュ・フロー	1	108	109	10,900.0%
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	104	85	+447.4%
現金及び現金同等物の増減額	438	673	1,111	253.7%
現金及び現金同等物の期首残高	2,225	2,663	+438	+19.7%
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	-	48	+48	-
現金及び現金同等物の期末残高	2,663	2,038	625	23.5%

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

増減の主な要因は、税金等調整前当期純利益の減少に加え、売上高の増加に伴う売上債権の増加および棚卸資産が増加したこと、仕入債務の支払期間を短縮したことに伴い仕入債務が減少したことであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

増減の主な要因は、ベトナムへの生産拠点追加に伴う生産設備を中心とした有形固定資産の取得による支出の増加によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

増減の主な要因は、資金調達方法変更に伴う短期借入金の増加等があったものの、自己株式の売却収入が無くなったことによるものであります。

(前 期)

現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

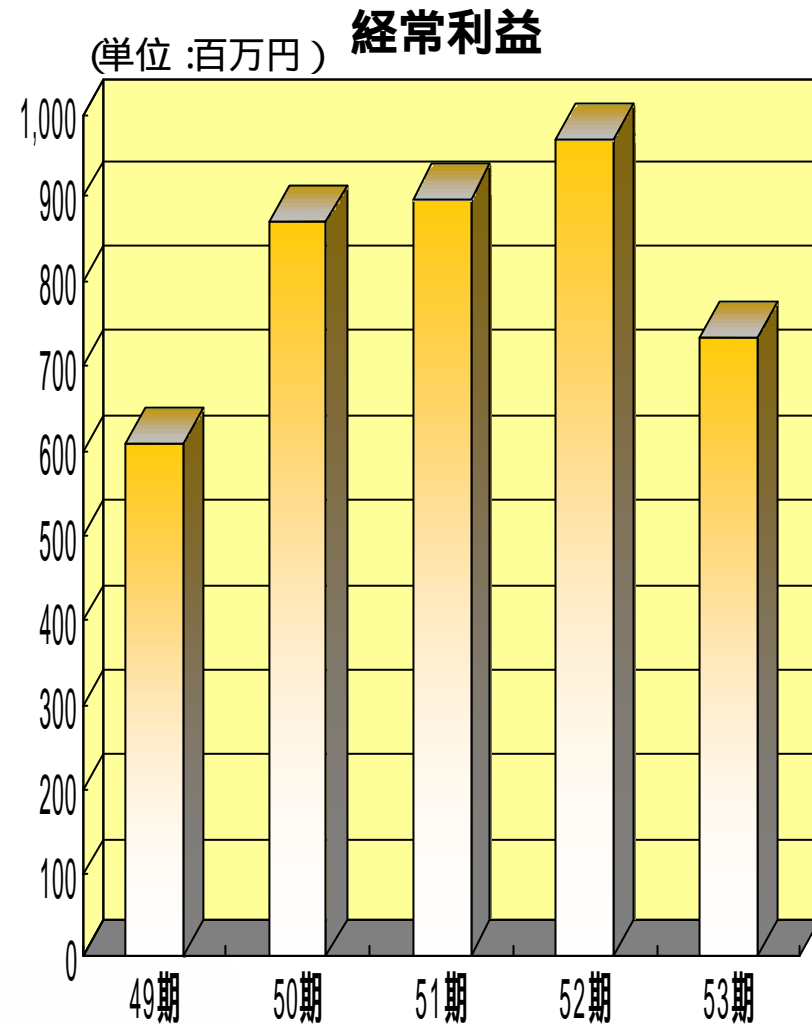
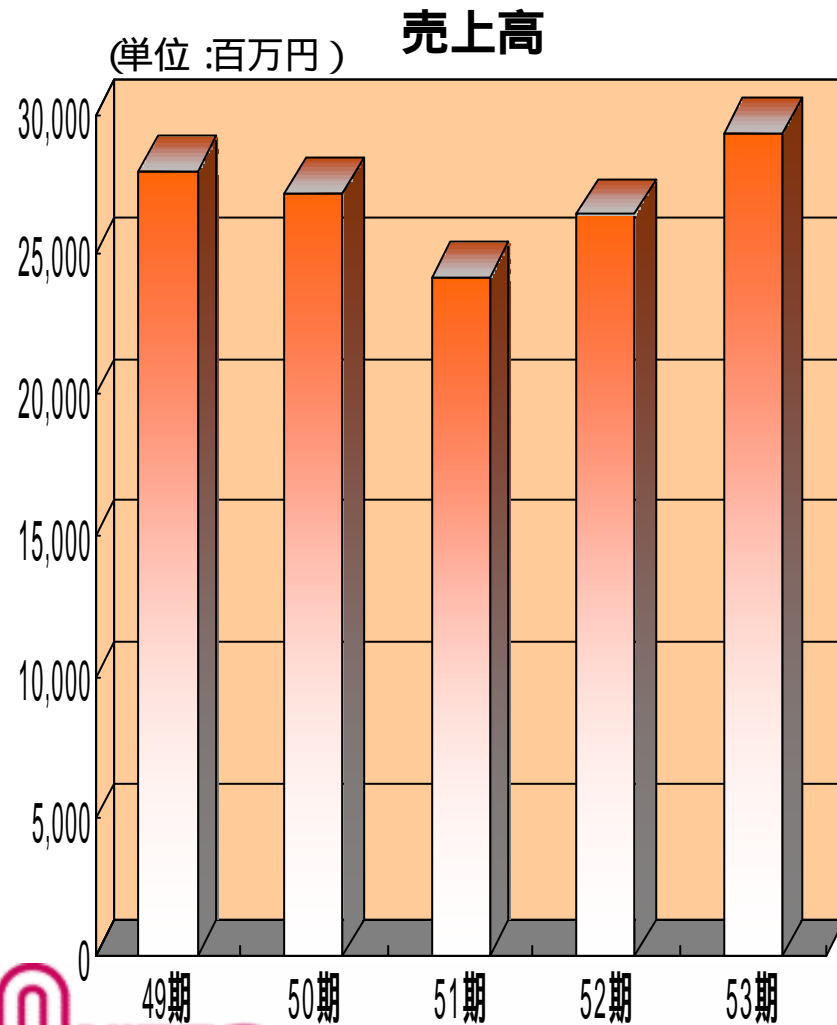
現金及び預金勘定	3,427,124千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	763,176千円
現金及び現金同等物	2,663,948千円

(当 期)

現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	2,491,293千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	452,972千円
現金及び現金同等物	2,038,320千円

業績の推移 (連結)



平成17年3月期の業績予想 (連結)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	14,300	370	310
通期	30,500	900	740

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 103円 88銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

トピックス

「バンコク工場創業15周年」

2003年11月に弊社バンコク工場(現地法人NIPPO MECHA TRONICS PARTS (THAI LAND) CO., LTD.)は1988年の操業から、15周年を迎えることができました。



海外で初めての生産拠点として、何も分からず右往左往していました操業期から、アジア通貨危機をはじめとした数々の難関を、皆様のご指導ご協力のおかげで乗り越えることができました。

現在 タイ(コラート)、マレーシア、中国(シンセン)、ベトナムと拡がりました弊社の海外展開も、元をたどればこのバンコク工場が始めであり、バンコク工場の成功がなければ、ここまでの展開はできなかったと考えます。

バンコク工場の生産アイテムも操業時のOA・AV関連から、車載アイテムへ転換してきており、2004年度においては車載アイテムの比率が半分以上となります。品質体制においてもISO/TS16949(ISOの自動車業界の品質システム規格)を年内に取得予定となっております。

今後も、弊社は「スピード&コミュニケーション」をキーワードとし、お客様にご満足いただける製品とサービスを提供しつづける所存であります。

これからも一層のご指導、ご鞭撻を頂きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



◀バンコク工場
15周年記念式典



中国上海に現地法人 NIPPO (SHANG HAI) LTD.設立

拡大する中国市場の中心とも言える華東地区の上海に、現地法人 NIPPO(SHANG HAI)LTD.を設立いたしました。場所は浦西地区の静安区のビルとなります。事務所は2004年2月5日にオープンし、事務所開設諸手続きを経て、同年3月より本格的な営業を開始致しました。

業務形態は保税區商社となり、輸出入業務、中国国内売買が経営範囲として登記されております。華東地区に進出している日邦顧客へのサービス提供拠点として、また中国での部品・製品調達窓口として活動を展開してまいります。

現地法人名 NIPPO (SHANG HAI) LTD.

所在地 Room 601, Apollo Business Center

No.1440, Yan An C Rd., Shang Hai, CHINA.

TEL +86-21-6249-3395

FAX +86-21-6248-5311

設立年月日 2003年11月5日

資本金 20万US\$

役員 董事長 長田 旬平

董事 岩佐 恭知

董事兼總經理 向井 創



本件に関するお問い合わせ

日邦産業株式会社

(名古屋本部 :〒460-0008 名古屋市中区栄5-27-12)

R担当役員

取締役 管理本部長

: 笹倉 健一郎

(TEL 052-263-1281)

(E-mail : ksasakura@nip.co.jp)

R事務連絡責任者

管理本部 経理部 係長

: 小栗 和弘

(TEL 052-263-1281)

(E-mail : koguri@nip.co.jp)